

## A 類 初等教育専攻 英語コース B 類 中等教育専攻 英語コース

※以降, A 類英語コースと B 類英語コースを「英語科」と呼びます。

世界中の人々との距離がいろいろな意味で飛躍的に近くなり, 人も物も国境を越えて世界規模で移動する今日, 英語を学ぶ意義はますます高まっています。東京学芸大学の英語科では, 確かな英語力, 英語とそれを取り巻く文化についての深い教養, そして卓越した英語指導力を持つ小・中・高等学校の教師を育てて世に送り出しています。

### 1. A 類英語科と B 類英語科の違い

A 類英語科は, 主に小学校の教員養成を目指し, 全教科に関する知識技能に加え, 小学生の言葉の学び方に沿った英語の指導力を身につけることを目標にしています。B 類英語科は, 中学校, 高等学校で英語の面白さや奥深さを伝えられる教員の養成を目指し, 英語に関するより高度で, 豊かな素養を, 多様な科目から学んでいきます。

### 2. 英語科の授業

英語科の授業は, (1) 英語教育の理論や実践を学ぶ科目, (2) 英語を科学的に分析する科目, (3) 英米の文学・文化について学ぶ科目, (4) 英語力を高めるための科目, という 4 種類の科目が体系的に配置され, 基礎から高度な専門性へと段階的に学べるのが特徴です。

#### (1) 英語教育の理論や実践を学ぶ科目

これらの授業では, 小・中・高等学校の英語教育について, 理論と実践の両面から学びます。英語の指導法や授業づくり, 学習評価, 言語獲得のメカニズムについて理解するとともに, 模擬授業の実施を通じて, 実践的な英語指導力を身につけていきます。

#### 【科目例】

初等英語科教育法	英語科カリキュラム論
小学校英語教育概論 I・II	第二言語習得
小学校英語教育演習 I・II	英語教育学研究
中等英語科教育法 I～IV	英語指導実践演習
英語科教材論	英語科と異文化理解

## (2) 英語を科学的に分析する科目

英語を教えようと言う時、言葉を分析的に捉える文法的な視点を身に付けておく事はとても重要です。英語の音声・語彙・意味・文法・歴史について学び、よく事実を観察しながら、自信を持って教えられるように、英語の「なぜ」を追求していきます。

### 【科目例】

英文法演習 I・II	文法理論
現代英語学 I・II	英文法特論 A・B
英語史概論	近現代英語研究 A・B
英語音声学概論	

## (3) 英米の文学・文化について学ぶ科目

文学・文化を学ぶ授業では、西洋近代の価値観あるいは「モダニティ」の問題を「文化的他者(the cultural other)」や「多様性(diversity)」あるいは「ラディカルな差異性」をふまえた「同一性」・共通性という観点から理解し、多文化社会の中で外国語としての英語を媒介にしたコミュニケーションを行う基礎的な力を具体的に身につけることをめざします。

### 【科目例】

アメリカ文化概論	アメリカ文学 A・B
イギリス文化概論	英米文学基礎講読 A・B
英米文学概論 A・B	英語圏文化演習 A・B
イギリス文学 A・B	

## (4) 英語力を高めるための科目

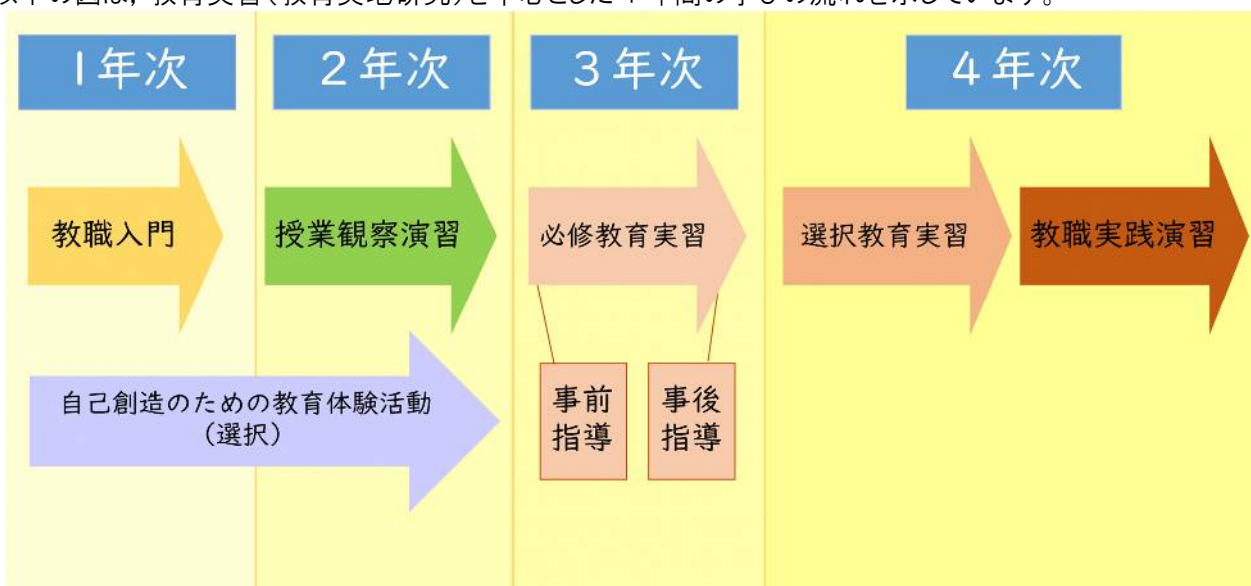
英語を教えるためには教師自身に高い英語力が必要です。英語科では、多様な授業を通して英語力を高めしていきます。毎週の授業で英語の読解、作文、会話の力を磨いていくほか、「英語集中演習」(選択)では、1週間程度、朝の授業開始時から夕方の授業終了時まで all in English で過ごします。3年次になると、「英語集中演習」に teaching assistant として授業準備と指導補助に携わって一定の成果を収めることで、「英語指導実践演習」の単位が修得できます。

### 【科目例】

英語読解 I・II
英会話 I～IV
英作文 I～III
英語集中演習 A～C

### 3. 教育実習(教育実地研究)

以下の図は、教育実習(教育実地研究)を中心とした4年間の学びの流れを示しています。



1年次の「教職入門」では、授業や学校参観を通して、様々な教師の姿や教育実践に出会い、教師の仕事、学校における教育活動の良さや課題について理解を深めていきます。

2年次の「授業観察演習」では、教育現場における授業映像などを視聴し、グループワークやディスカッションを行います。これにより授業観察の視点を得るとともに、学習指導案の構成や役割についても理解を深め、次年度の教育実習への問題意識を明確にします。このほか、「自己創造のための教育体験活動」において、学校現場などを体験する機会を増やし、教育実習に向けて準備を進めていきます。

3年次の「事前指導」では、指導計画を作成し、実際に模擬授業を行ったうえで、附属学校で行う教育実習「必修教育実習」に臨みます。また、「事後指導」で振り返りや様々なフォローアップを行います。

4年次の教育実習「選択教育実習」では、公立学校などの教育現場でさらなる経験を積み、授業実践や学級経営、児童・生徒理解に対する知見を深めていきます。最後に4年間の総まとめとして「教育実践演習」を受講します。「教育実践演習」ではこれまでの教育実習などでの経験をもとに、「教職観」「教科基礎力」「学習指導力」「子ども理解力」「生活指導力」について、グループディスカッションなどにより省察し、自己の到達点と課題を確認します。

### 4. 卒業研究

4年次には、全員が卒業論文を英語で執筆します。3年次に、英語教育、英語学、英米文学文化の3分野の中から執筆希望領域を選び、4年次に研究に取り組み、その成果を卒業論文として執筆し提出します。

英語教育分野では、日本人英語学習者に英語を教えるとき、どのような教材や指導法が効果的かを調べる研究や、どのようなプロセスで英語が習得されていくかを調べる研究などに取り組みます。

英語学の分野では、英語の文法や構文が歴史的にどのように発展してきたかを、英語のデータベースを使って調べる研究や、英語母語話者が使っている英語表現の規則を理論的に解明する研究などに取り組みます。

英米文学文化分野では、特定の文学作品や作家を取り上げて、独自の視点から作品の背景や作家の特徴を分析する研究や、映画や文学作品の中で、アメリカやイギリスの社会的背景や文化がどのように反映されているかを分析・考察する研究などに取り組みます。

#### 【過去の卒業研究の題目例】

##### 英語教育分野

- The Potential of Using a Mobile Message Application in the Instruction of Written Interaction in English
- Is Japanese EFL Learners' Speaking Performance Affected by their Interlocutors' Language Background?
- The Effect of Time-Compressed Speech on EFL Learners' Listening Comprehension
- Reading Texts on Paper vs. Screen: Effects on Japanese EFL Learners' Reading Comprehension

##### 英語学分野

- A Historical Approach to the That-clause Following Emotive Adjectives
- A Study of the Pretty Construction: why is it possible though it is redundant?
- A Derivation of Parenthetical Clauses

##### 英米文学・文化分野

- Destiny and Free Will in *Harry Potter*
- Wounds of War: Absence and Sexuality in *The Sun Also Rises*
- Passing for White: Racial Identities and Maternal Heritage of Resistance in *The President's Daughter*

## 5. 海外留学

学芸大には交換留学(派遣留学制度)があり、これを利用して在学中に留学することができます。留学先は、大学間交流協定を締結している海外の大学(16の国と地域の54校)から選ぶことができ、「派遣留学生(交換留学生)」として選ばれた学生は、半年から1年以内の期間で留学することができます。

他にも、夏休み、春休み等を利用した短期留学プログラムが数多くあります。

## 6. 取得できる免許・資格等

- 小学校教諭一種免許状 - 中学校教諭一種免許状(英語)
- 高等学校教諭一種免許状(英語)

所定科目の単位を修得することで以下の資格の取得が可能です。

- 司書 - 司書教諭 - 学校司書
- 学芸員
- 社会教育主事・社会教育士

## 7. 卒業後の進路

卒業生の進路については、比較的多くの学生が小学校、中学校、高等学校の教員になります。それ以外には、大学院に進学する学生、公務員試験を受ける学生、そして一般企業に就職する学生もいます。